

2017年11月28日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
(住所変更しました)
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.105



「市政アンケート」1300通超える 身近な要望を市に提出します

9月議会では、「市政アンケート」に寄せられた道路行政などについて一般質問しました。昨年よりも多くの皆さんが要望をびっしり書かれています。各地域ごとに要望書にまとめて市へ提出します。

【市川・真間】

- ・市川橋を早期に修理してほしい。
- ・京成真間駅近くのマンションのビル風対策を。
- ・放課後、子どもが遊ぶ公園や広場がない、学校を開放してほしい。
- ・市川広小路の交差点で4回も轢かれそうになった。歩車分離式にしたらどうですか。

【菅野・須和田】

- ・菅野小周辺の抜け道が危険であり対策をとってください。
- ・夏は異臭がするので、大柏川や真間川の雑草、川底の整備をしてほしい。
- ・須和田橋は狭く、歩道もなく、危険です。
- ・交通公園に交通指導員を配置してほしい。

【東菅野】

- ・宮久保郵便局からベイ信金までの通りに、街路樹がはみ出し、車や自転車で行く際、車に擦れたり危険な箇所です。

【八幡】

- ・国道14号の歩道拡幅を。
- ・旧市役所の東昌寺隣にあった駐車場が閉鎖され、困っています。いま市の車両が利用しているだけです。一般

人に使わせてほしい。

【国分・東国分】

- ・防災無線が聞き取れない。国分2丁目の石橋下公園周辺にスピーカーを設置できないか。
- ・国分の高台では、台風や大雨の時に危険を感じる。対策をとってほしい。
- ・いなほ幼稚園近くにある車止めのポールを市で外すようなことは絶対にやめてください。
- ・地域猫活動を認めてほしい。ペットが迷子になったときの探し方を周知してほしい。
- ・京成バスに市が補助をして、バスの増便をお願いしたい。

【国府台・中国分】

- ・下水道の整備を早くしてほしい。
- ・西部公民館、中国分保育園、明松園と公共施設が並ぶ道路が禁煙とされていない。公民館の木々の落葉や雑草の処理は、近隣の住民のことも考えて対処してほしい。
- ・国府台小前の歩道橋を撤去してほしい。高齢者は渡れない。

- ・空き家対策を徹底してほしい。
- ・市川松戸線の歩道を整備してほしい。
- ・スポーツセンターからテニスコートがなくさないでほしい。

【北国分・堀之内】

- ・新設の公園をつくるときは、住民懇談会や意見交換する場を何回もやってほしい。一方的な説明ではだめ。
- ・都心から近く、自然と歴史がいっぱいある北国分地域、市川ブランドのをつくってほしい。
- ・北国分から、市川一への通学が遠すぎる。バスや電車の利用を禁止されているので対策を望みます。
- ・コミュニティバスを早期に走らせてほしい。
- ・図書館や集会場、交番を作してほしい。

真間のマンション群



市川市長選挙 市民と野党の統一候補

村越ひろたみ候補 最多得票 法定得票に届かず「再選挙」に

市長選挙の結果について

昨日の市川市長選挙で、市民と立憲野党が推薦する村越ひろたみ候補は、2万8109票を得て、5人の立候補者のうち、最多得票数でしたが、当選に必要な得票率25%に届かず、50日以内に「再選挙」が行われることになりました。

村越候補は出馬表明がもつとも遅く、短期間での準備を余儀なくされましたが、大久保市政からの大転換で市民負担の軽減や高齢者福祉の向上を図る「いちかわ超改革」は、急速に有権者のなかに浸透しました。わずか1600余票でした。

深夜、再選挙の見込みとの報道を受けて村越候補は「再選挙での必勝を期して、この朝から駅頭に立ちます」と決意を語りました。日本共産党は引き続き、村越候補とともに奮闘し、今度こそ勝利を手にする決意です。いっそうのご支援を心よりお願いします。

2017年11月27日
日本共産党市川浦安地区委員会

☆投票率 30・76%

☆開票結果

1	村越ひろたみ	2万8109票
2	坂下しげき	2万7725票
3	田中 甲	2万6128票
4	高橋りょうへい	2万0338票
5	小泉 文人	1万6778票

11月19日告示、26日投票で市川市長選挙が闘われました。共産党市議団は「無所属の会」「民進・連合・社民」13人と議員の会をつくり応援してきました。10月の総選挙に続き、市民と野党の共同候補を推すことができました。多くの政党、連合千葉も推薦、市民に優しい市長を選ぶ会からも推薦しました。



選挙最終盤は、共産党の小池晃書記局長（写真）、民進党の連舫参議院議員、野田佳彦元総理、社民党の福島みずほ副党首が応援に駆けつけました。

大激戦の結果、村越ひろたみ候補が最多得票（2万8109票）を得ましたが、5人の候補者いずれも、法定得票をとることができずに「再選挙」ということになりました。法定得票は、11万9078票の4分の1、2万9770票で、村越候補はあと、1661票足りませんでした。

*再選挙とは
公職選挙法95条で、すべての候補者が有効得票総数の4分の1に届かない場合は、再選挙となります。再選挙は2週間の異議申し立て期間の後、50日以内に行われます。県内で首長選の再選挙は1979年の富津市以来。



無料法律相談

◎12月12日（火）
担当 土井太郎弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分
予約は清水または控え室。

《主な活動報告 10～11月》

☆10月29日 西部公民館の文化祭

28日、29日と西部公民館の文化祭が開かれました。西部公民館を利用している団体が集まり、実行委員会をつくり、前日の設営から当日の運営まで、手作りの文化祭。さらに各サークルの成果を発表する場が設けられ、皆さんの励みになっています。

☆11月8日 岡田県議と国府台高校を視察



岡田県議が高校の施設の老朽化について、聞き取りを行っています。写真は国府台高校のプールです。素足ではとても歩けません。

学校側は県教委に要望を出しているけど、なかなか実現しないと話してくれました。